

FREE 無料

ご自由に
お持ち帰り下さい。

広報誌スマイル

Smile

Vol. 21

June
2017

医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院

<http://www.kinshukai.or.jp/kinshukai/hanwadaini/>

阪和第二泉北病院からのお知らせ

地域包括ケア病棟を 開設しました

◎地域包括ケア病棟におけるリハビリ
～退院先での生活を見据えたプログラムを実施

P2～3

《レギュラーメニュー》

◎緩和ケアだより P5

◎医療福祉相談室便り P6

◎栄養部便り P7

◎看護部便り P7



「すーちゃん」と「まいるくん」の
この人に話を聞いてみたい！

P4



地域包括ケア病棟を開設しました

開設日 平成29年2月1日

開設の目的と役割

「地域包括ケア病棟」とは、2025年問題と呼ばれる超高齢化社会を迎えるに当たって国が行っている病床再編の目玉の一つとして創設された病床（病棟）です。国の考えは、急性期病床特に超急性期病床はその役割を更に先鋭化させ、専門診療、高度診療に徹することとし、地域に必要な一般的な診療によりこれら専門病床が疲弊しない仕組みを作ると共に、より地域社会に溶け込み身近に医療サービスが受けられるようにするための病床としています。

「地域包括ケア病棟」の包括とは、別にマルメ診療（費用がほとんど包括される）の包括ではなく、包括するのはお金ではなく「地域」「地域社会」です。地域包括支援センターの概念と同じです。そして、

実際どのような医療サービスを提供させていたかどうかと言うと、「急性期と慢性期の間の治療と在宅復帰に向けた退院の準備をする病棟」と考えていただければ早いかなと思います。また、介護支援を受けて生活しておられる方々は、ちょっとした事で体調を崩されます。少しの治療と療養でまた元気に在宅生活ができるよう入院を受け入れて行くのも役割の一つです。まさに、国が提唱する「時々入院ほぼ在宅」を担う病床がこの「地域包括ケア病棟」であります。

当院では近隣の超急性期病院様や介護施設様と連携させていただく中で、慢性期病床ではなかなかお受入しがたい病態の患者様でもスムーズに受け入れさせていただく窓口病棟としても機能しており、患者様の在宅復帰（施設等含む）のためのサポートを全力で行っていきます。

地域包括ケア病棟がもつ2つの大きな活動内容



今年2月より、地域包括ケア病棟となつて約半年が経とうとしています。

A2病棟は地域包括ケア病棟ということで、近隣の病院や関連施設から、一日に何人もの患者様が入院してきます。そのため、かなり目まぐるしく日々が過ぎていく状況です。しかし、忙しい中でもスタッフ同士のコミュニケーションも良く、明る

い雰囲気の中病棟です。

私たち病棟の特徴としては、医師・看護師・栄養士・リハビリ・薬剤師・ソーシャルワーカー・介護福祉士など多職種で一人一人の患者様の入院から退院までをチームで支援しています。その活動内容を2つ紹介します。

①入院時から早期退院を目指して、入院前の状況を把握し、スムーズに自宅や施設に帰れるように退院後の生活をイメージしながら、ケアを提供しています。そのため、退院前には家族様や訪問看護ステーションのスタッフや、訪問診療担当医師、担当ケアマネジャーと一緒に退院前カンファレンスを開催し、自宅での生活環境や社会福祉サービスの調整を行っています。

②患者様や家族様との関係性を築き要望や不安要素を知り、週1回多職種カンファレンスを開催しています。多職種の色々な視点から患者様の事を考え安心・安楽に入院生活を送れるケアの提供を行っています。

私たちはスタッフは良質なケアの提供を常に考え患者様に携わっています。これからも病院の理念である「やさしく命を守る」を誠心に、丁寧に患者様や家族様と関わりを持ち、寄り添っていきます。また、一人一人の想いを大切にし、その想いに沿った看護を提供していく努力をこれからも忘れずに、患者様や家族様から「この病院で良かった」と思っていただけの日々頑張っています。



◎地域包括ケア病棟におけるリハビリ ～退院先での生活を見据えたプログラムを実施

地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士をバランスよく配置し、患者様に当院からスムーズに自宅や元の施設などの住み慣れた場所に戻っていただくことを第一の目標に掲げ、日々の臨床業務に取り組んでいます。患者様のリハビリの進捗状況は、常に医師、看護師、ソーシャルワーカー等の他職種と共有しています。

各々の療法においては、掲げた共通の目標に対して、個別性の高いリハビリを高頻度でご提供しています。理学療法士は寝返り・起き上がり・座位・立ち上がり・立位保持・歩行等の基本的動作、作業療法士は食事・排泄・整容・入浴等の日常生活動作、言語聴覚士はコミュニケーションや摂食・嚥下に対して、それぞれ主にアプローチしています。例えば、「退院先で安全に食事を摂取できる」ことを目標とする場合、理学療法士は食事に際しての適切な座位、作業療法士は箸やスプーンの効果的な使い方、言語聴覚士は食物を安全に飲み込む能力(嚥下機能)の獲得や向上などを旨としたリハビリを進めています。

退院先と病院では、生活環境、関わる人など患者様を取り巻く環境は大きく異なります。その点を視野に入れた療法の実施にも留意しています。例えば、床からの立ち上がりは難しい方が、退院先では床に敷いた布団で寝起きしなければならないような場合、作業療法室にある畳の上での練習を取り入れて安全な方法で実施できるよう支援したり、動作の実施が困難であれば、福祉用具の利用や住宅改修に関するご提案などもさせていただきます。

これからも、スタッフ一丸となって、患者様お一人おひとりに対して質の高いリハビリをご提供してまいります。



「すーちゃん」と「まいるくん」の

この人に話を
聞いてみたい!



平成29年度新人紹介

今回は平成29年度入職のA5南病棟の福山 智章さん、
管理栄養士の松本 優香さんにお話を聞きました。

A5南病棟 福山 智章

錦秀会 阪和第二泉北病院に入職して

私は、熊本県出身です。もともとは地元で就職予定でした。しかし、知り合いも居ない全く新しい環境で働くことで自分自身が何か変われるのではないかと思います。地元を離れた土地に就職しようと考えました。

そして、私の勝手なイメージでとても明るく楽しく働けるのではないかと思います。大阪で就職を探しました。そして、関西最大級の医療法人である錦秀会グループを見つけました。

また、病院の理念にもとても共感を持ちました。その中でもケアミックス型病院の阪和第二泉北病院でなら様々な分野が学べるのではないかと思います。錦秀会で働きたいと決めました。内定を頂いた時から期待と不安を持って入職しました。

私の配属された病棟は、人工関節病棟でした。私以外は女性スタッフで正直上手くやっていたのか不安でした。しかし、業務に入ってから看護師さんから毎日「仕事きつくない?」「大丈夫?」など声をかけて頂きました。初めての経験ばかりですが、実施指導者や他の先輩看護師の方々がとても丁寧に説明、指導して下さいました。そのおかげで少しずつですが業務に慣れることが出来ました。

看護師であっても、男性である為に女性の患者さんのケアに入れないことがあります。患者様の羞恥心に配慮する事も、とても重要な看護だと思い、自分のできるケアを見つけ実践していきたいと思えます。まだまだ知識や技術も未熟な私ですが、先輩方に早く追いつけるように日々努力したいと思います。

また、私は、病棟のスタッフの方々や同期の友人に出会えたことにとても感謝しています。大阪に出てきて良かったと心から思います。看護師として成長することはもちろんですが、この一期一会の出会いを大切に「思いやりの心」「感謝の心」を忘れずに頑張ります。



患者様のために安心安全で美味しい食事を

管理栄養士 松本 優香

私は食べることが好きで、食を通して病気で苦しむ方の力になりたいという思いから管理栄養士として病院で働くことを決意しました。新人研修などを通して、阪和第二泉北病院で働く全ての人が患者様のためにという共通意識を持っていると感じ、そのような病院で働けることを非常に嬉しく思います。

現在は研修として主に調理業務に携わらせていただいております。患者様が直接口にされるものを調理することの責任の大きさを実感する日々です。覚えるべきことが多く、大変ではありますが、先輩方が他の業務もある中で優しく丁寧に指導してくださっており、充実した毎日を過ごすことができています。栄養部では、安心安全であることはもちろん、美味しく、見た目も美しい食事を提供できるよう全員が協力して業務を行っています。

私も一日でも早くその一員として患者様の力になれるよう日々努力していきます。そして、今後は直接患者様と関わる業務もできるようになっていきたいです。



緩和ケアだより

支える場所として、
人と人をつなぐケアを。

vol.
20

A5北病棟 看護師 溝口 亜貴子

患者様の希望を 支える場所

私が緩和ケア病棟に配属になってから、約2年が経ちます。当初の印象は、穏やかな死を迎える患者様は少なく、薬剤やケアに早急な判断が必要であり、家族のケアにも目を向けなければならぬ、大変でとてもたちうちできない臨床だと思っていました。でも実際は、ゆっくりとした時の流れを過ごす患者様とご家族、急激な病状の変化の中にもほっとしたひと時のある空間、そこは看護師が率先して患者様に何かを提供するのではなく、患者様が希望を持ったり、何かをやり遂げようとすることを支える場所だと気づかされました。

私にそう気づかせてくれたのは、60代のH氏。腎臓癌と診断され、7年8か月闘い、最期の10か月は緩和ケア病棟で過ごされま

した。入院時から自分のことは自分で決め、看護師に頼ることはあまりなく、今後への高まる不安や弱音を吐くこともありませんでした。

病状の進行に伴い、痛みや倦怠感は増強し、ADL（日常生活動作）も低下。夜間の不眠にも襲われた入院8か月目に、H氏が「カラオケがしたいな。」と一言。何かを決めたかのように、希望を表出してくれたことを嬉しく思いました。それと同時に絶対に叶えたいと強く思いました。腎臓癌と診断される前、カラオケの先生をされていたH氏は、生徒さんと呼んでみんなでやりたいと希望されました。H氏の希望を叶えるために、日程調整、物品の準備、当日の他の患者への配慮など、家族、担当リハビリ、病棟スタッフ全員が一丸となって、準備をすすめました。

当日はH氏の体力の消耗を考え、1時間ほどでしたが、奥様、生徒さん、ご友人の方が合わせて20名ほど来院され、サロンで盛大に、そしてとても幸せなひとときが流



れました。「入院した時から、カラオケをやりたくなかった。楽しかった。ありがとう。」と言われた時の握手が忘れられません。

カラオケ大会から約1か月後、H氏はご家族に見守られなくなりました。亡くなる2日前まで、何としてもトイレには行くんだと全身の激痛と闘いながら、看護師3人の手を借り、車いすですぐトイレに行きました。亡くなる前日まで、どんなに苦しくても薬だけに頼るのは嫌だというH氏の考えや本人らしさを尊重しながら一緒に考え、「よし、それでいこう。」と自己決定されることを支えました。私が最期までH氏を支えられたのは、力強く生きようとする姿を見せてくれたおかげであり、私もH氏に支えられていたように思います。看護だからこそできる、人と人をつなぐケアをこれからも大切にしていきたいと思っています。

（文章・写真掲載を快く承諾してくださいましたH氏の奥様に心より感謝申し上げます。）



第8回

連携施設に おじゃましました！

ケアハウスとは、身体機能の低下等により自立した生活に不安がある60歳以上の方が対象となる施設です。

ゆーとりあさんでは、それまでの暮らしの継続と地域やご家族とのつながりある暮らしを大切にしておられます。施設内での決まったスケジュールではなく、利用者さんに合わせたおもしろおもしろの生活・暮らしのサポートが受けられます。また、特定施設入居者生活介護の指定を受けておられるので、介護が必要となった時も安心して住み続けることが可能です。



お部屋は、お気に入りの家具など自由に持ち込めます



お誕生日会でのお食事



特別浴室の浴槽は青森ヒバ製の個浴



七夕飾り製作中

自宅と同様に過ごせる 快適空間！

お部屋は全室個室であり、自宅と同様に自分の生活時間をゆっくり過ごせます。

また、施設が企画される外出はもちろん、電車等で遠出される方、地域のボランティア活動に参加されている方もおられ、これまでの生活を続けていけます。

施設内のクラブ活動も充実しており、手芸クラブやフィットネスクラブなどがあります。

また、クラブ活動とは別に皆さんの特技が活かされ、コミュニティスペースで七夕飾りの準備をしておられたり、施設内の絵画を提供されたりといきいき過ごされています！！



開放感あふれる吹き抜けのエントランス



食堂ののれんも
手芸クラブの作品



自分で並んで好きな量、おかずを選べます！

おすすめポイント！

- ・自由な生活
- ・自分らしい暮らしのつづき
- ・利用者さんに合わせた介護
- ・みんなで作り上げていく生活
- ・厨房で調理される温かいお食事の提供
- ・看取りの体制が整っており、ずっと暮らし続けられる



職員の皆さん

【施設概要】

ケアハウス ゆーとりあ

〒599-8234 大阪府堺市中央区見野山162番地

☎072-236-8779

入所のご相談はこちらまで

栄養部便り

〈夏野菜をおいしく
食べよう!〉

豚肉とオクラで元気なカラダ作り

紫陽花が咲き始め、梅雨の時期になりました。梅雨が明けると、いよいよ夏本番を迎えます。夏に旬を迎えるオクラは、βカロテンが豊富で皮膚や粘膜を健康に保ち、風邪予防にもなります。さらにオクラのネバネバ成分には、食後の血糖値や中性脂肪の上昇を抑える働きがある水溶性食物繊維のペクチンや、胃腸の粘膜を保護したりタンパク質の消化を助ける働きがある糖タンパク質のムチンが含まれています。

また、豚肉に含まれるビタミンB1と梅干しに含まれるクエン酸は疲労回復の効果もあります。梅干しの酸味には食欲を増進させる作用もあるため、夏バテ予防におすすめです。

素材の持つ力を活かし、元気に夏を乗り切りましょう!

梅干しの酸味で食欲UP! 『豚肉の梅オクラ巻き』

材料(一人分)

- 梅干し 適量
- オクラ 3本
- 塩 少々
- 豚肉の薄切り 3枚(約50g)
- ごま油 適量

付け合せはお好みで

◎写真はえごま、
プチトマトを使用。
大根おろしも
おすすめです。



〈作り方〉

- ①梅干しは種を取り除き、スプーンなどでつぶす。
- ②鍋に水を入れ火にかけ、沸騰したらオクラをさっと塩茹でし、ザルにあげる。オクラが冷めたらヘタの部分を切り落とす。
- ③豚肉を広げ①の梅肉を塗り、豚肉1枚でオクラ1本を巻く。
- ④フライパンにごま油を敷き③を焼く。
- ⑤肉に火が通り焼き目がついたら、器に盛りつける。



ワンポイントアドバイス

- ・オクラのネバネバ成分は水溶性のため、あまり茹ですぎないようにしましょう。
- ・豚肉を斜めに置き、オクラを転がすように巻くときれいに巻くことができます。



看護部便り

ご自宅で不安なく過ごしていただくために

～平成28年10月から活動を開始しています～

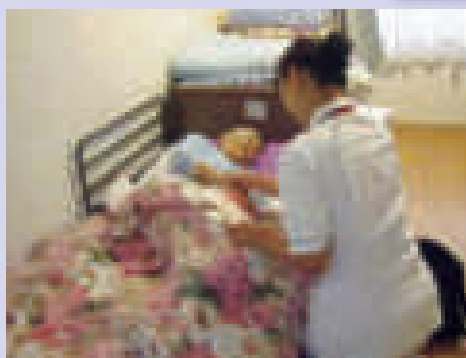
訪問看護室は院内の訪問看護と退院前・後の訪問看護指導を中心に活動しています。

具体的な活動内容は、

- 退院前の在宅環境調整や試験外出・外泊時の訪問
- 退院直後から在宅生活が落ち着くまでの間の医療処置や療養生活状況の確認と家族(介護者)支援等です。

また、ケアマネージャーからの相談に応じて食事や排泄、入浴等の実施とその方法の助言、指導を行ったりしています。

生活環境や家族状況はそれぞれ異なりますが、地域ケアシステムの中で、その一端が担えるよう、“住み慣れた住まいで”不安なく過ごしていただける、支援活動をしていきたいと考えています。



当院へのアクセス



道路事情により遅れる場合がありますので
あらかじめご了承ください。

電車でお越しの方

- ①南海高野線「中百舌鳥駅」、
地下鉄御堂筋線「なかもず駅」より、
南海バス「もず陵南町西」下車南へ徒歩5分、
もしくはタクシー(2.2km)
- ②JR阪和線「上野芝駅」、
泉北高速鉄道「深井駅」より、
病院送迎バス、もしくはタクシー(1.7km)

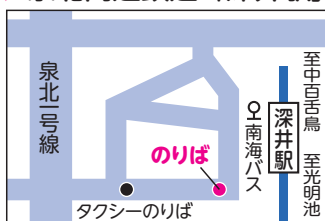
お車でお越しの方

- ①阪神高速堺線終点下車、26号線浜寺中学校
左折、約10分
- ②阪和自動車道堺IC下車、約15分

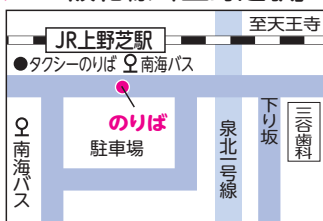
送迎バスが駅から送り迎え致します。



▶ 泉北高速鉄道「深井駅」



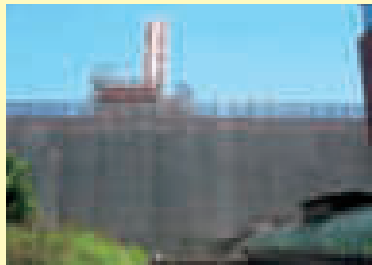
▶ JR 阪和線「上野芝駅」



※深井駅のバス乗り場は事情により若干移動することがあります。
※道路事情により遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

現在、病院建物外壁
の美装工事中です。
ご迷惑をおかけしま
すが、ご協力お願い
致します。



撮影者：職員 西村 太一

送迎バス時刻表

泉北高速鉄道 深井駅					
平日・土曜			日曜・祝日		
深井駅→病院	病院→深井駅		深井駅→病院	病院→深井駅	
7 15 40	05		7 15 40	05	
8 00 20 40			8 00 20 40		
9 20 55	10 45		9 20 55	10 45	
10 15 40	05 30		10 15 40	05 30	
11 15 40	05 30		11 10 50	00 40	
12 30 50	40		12 50	40	
13 20 50	10 40		13 20 50	10 40	
14 20 50	10 40		14 20 50	10 40	
15 10	00 45		15 10	00	
16 00 25 50	15 40		16 10 45	00 35	
17 15 40	05 30 55		17 40	30 50	
18 05 30 55	20 45		18 00 20 40	10 30 50	
19	10 35		19	15 40	
20	15		20	15	

JR阪和線 上野芝駅

平日・土曜			日曜・祝日		
上野芝駅→病院	病院→上野芝駅		上野芝駅→病院	病院→上野芝駅	
7 15 40	05		7 15 40	05	
8 00 20 40			8 00 20 40		
9 20 55	10 45		9 20 55	10 45	
10 15 40	05 30		10 15 40	05 30	
11 15 40	05 30		11 10 30	00 20	
12 30 50	20 40		12 20	10	
13 20 50	10 40		13 20 50	10 40	
14 20 50	10 40		14 20 50	10 40	
15 10	00 45		15 10 50	00 40	
16 00 25 50	15 40		16 45	35	
17 15 40	05 30 55		17 40	30 50	
18 05 30 55	20 45		18 00 20 40	10 30 50	
19	10 35		19	15 40	
20	15		20	15	



医療法人 錦秀会

阪和第二泉北病院

【住 所】〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3176番地
【連絡先】TEL. 072(277)1401(代)
【U R L】http://www.kinshukai.or.jp/kinshukai/hanwadaini/

